

# 第14期（2020年3月期） 決算説明資料 2020年5月28日（木）

# 目次

<b>当社の概要</b>	<b>P. 3</b>
<b>2020年3月期の概況</b>	<b>P.10</b>
<b>市場動向</b>	<b>P.23</b>
<b>当社の優位性と今後の展望</b>	<b>P.28</b>

# 当社の概要



# 会社概要

会社名	株式会社プレミアムウォーターホールディングス
代表者	代表取締役社長 萩尾 陽平
所在地	東京本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-4-16 神宮前M-SQUARE3F  本店 〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田4597-1
事業内容	自社ブランド「PREMIUM WATER」を中心とするミネラルウォーターの製造・宅配事業
設立	2006年10月
決算期	3月
従業員数	835人（役員、臨時従業員を含まない）※2020年3月末時点

非加熱天然水業界NO, 1  
株式会社ウォーターダイレクト  
(東証二部上場)



CLYTIA



顧客獲得力業界NO, 1  
プレミアムウォーター株式会社  
(株式会社エフエルシー)

PREMIUM WATER

HighQuality Water Delivery Service

2016年7月 経営統合



PREMIUM WATER HOLDINGS

# 事業内容

各地の水源から採水した**ナチュラルミネラルウォーター（天然水）**を**ワンウェイ方式**で宅配するホーム・オフィス・デリバリーを事業の基本として展開しています。



- ◆お客様メリット 補充の心配をせず、毎日の生活の中でご利用いただけます。
- ◆事業者メリット 収益基盤が安定し、小さなリスクで長期的な投資に臨むことが可能です。

# ストック型ビジネスモデル

毎月の定期配送による安定した売上

ご契約

水源工場

ご自宅



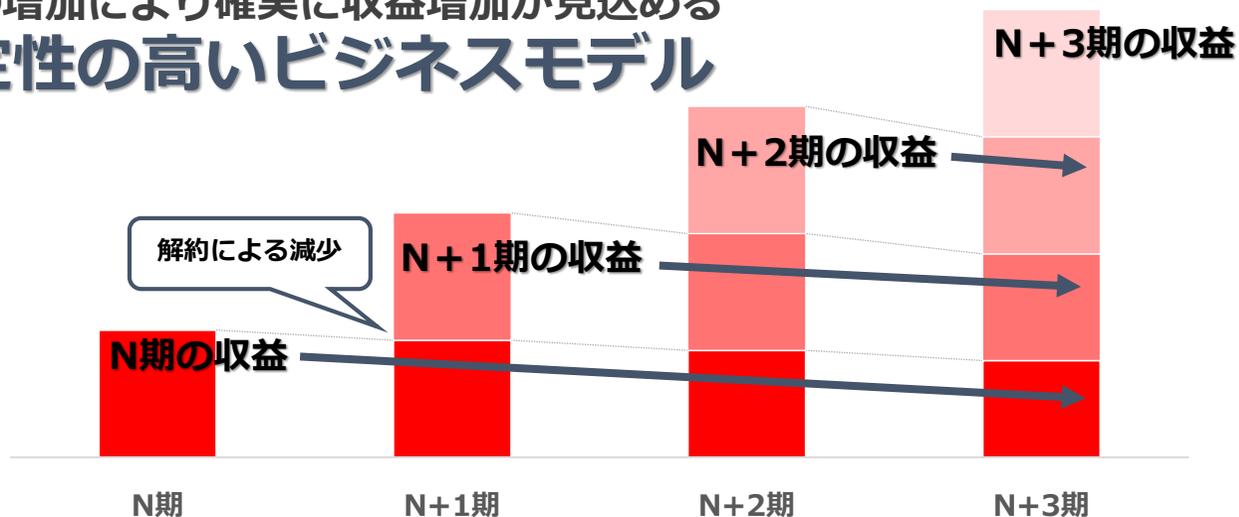
×

契約件数の増加



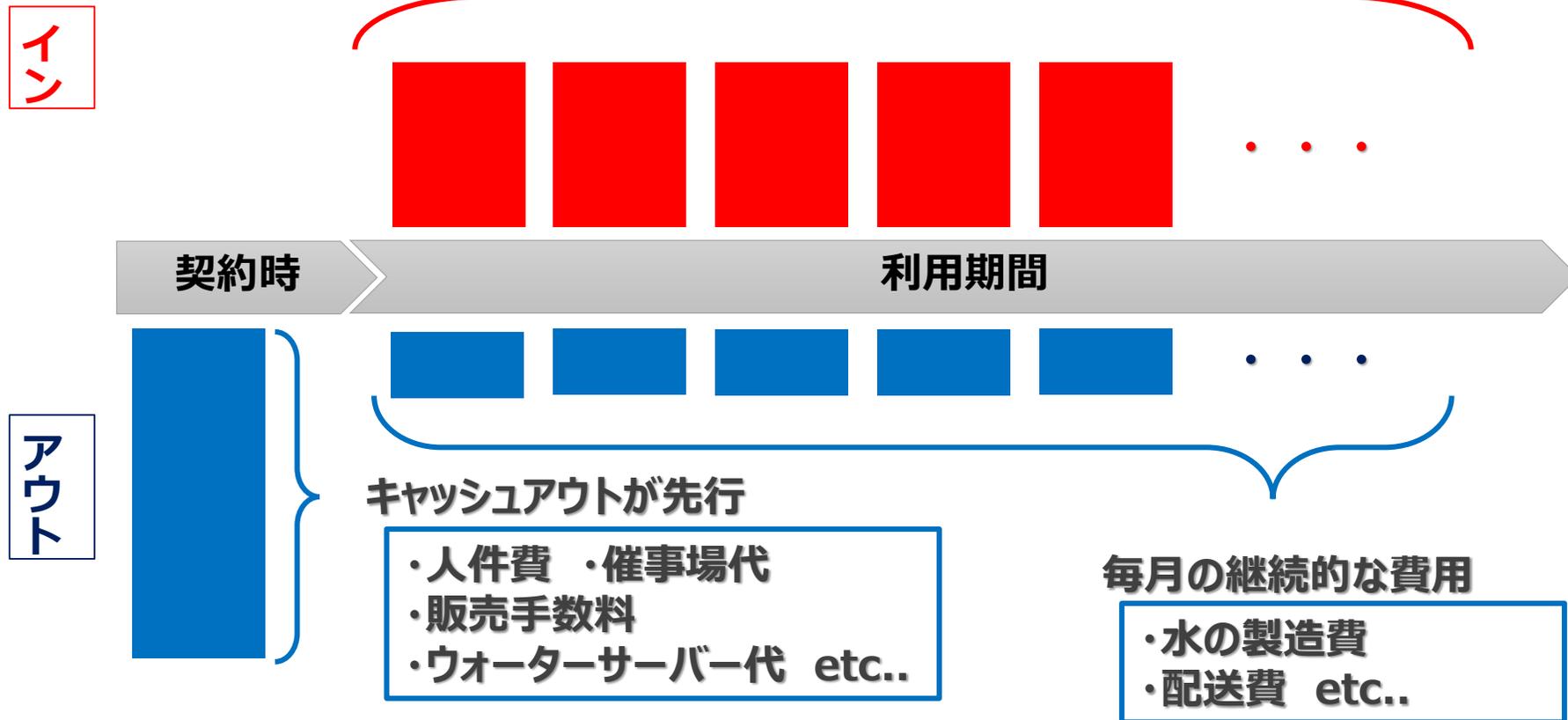
CPA※が一定水準であれば  
※CPA = 顧客1件あたりの獲得コスト

顧客の増加により確実に収益増加が見込める  
安定性の高いビジネスモデル

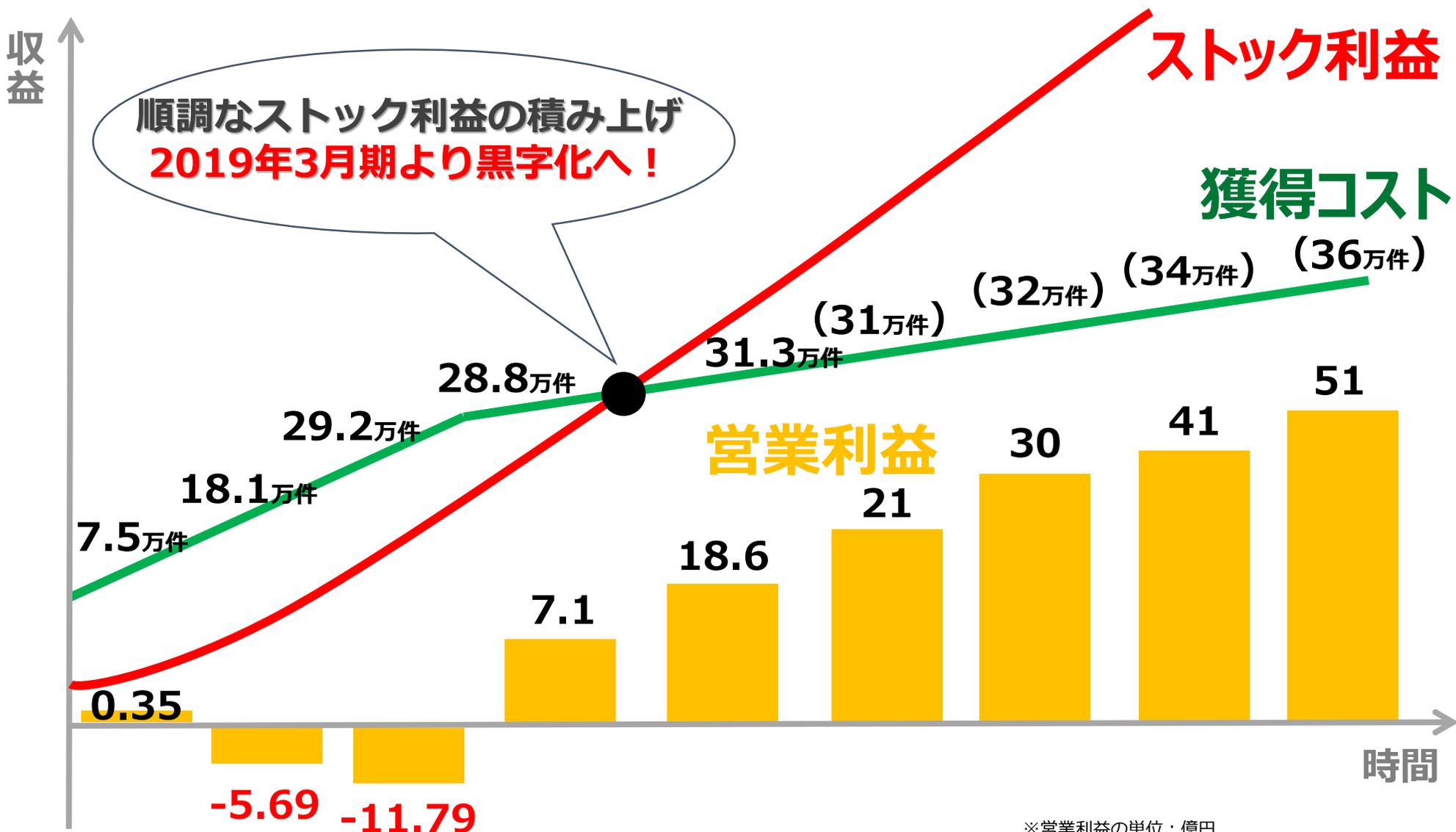


## 先行投資を長期的に回収していくモデル

ストック利益（毎月の継続的な売上 - 毎月の継続的な費用）



# 当社の成長イメージ



※営業利益の単位：億円  
 ※（ ）内数値は、中期経営計画の新規契約件数。

# 2020年3月期の概況



- ✓ 宅配水の出荷本数の増加により、売上収益が454億円、営業利益18億円となり、過去最高値を記録。
- ✓ 2020年3月末の保有契約件数が100万件を突破。宅配水業界において、顧客数No.1となる。

# 連結損益計算書サマリー

※EBITDAは簡易的に営業利益+減価償却費としております。

(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減	増減率
売上収益	37,744	45,453	7,709	20.4%
営業利益	814	1,859	1,045	128.4%
税引前利益	428	1,472	1,044	244.0%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△312	1,866	2,178	—
EBITDA	5,988	8,008	2,020	33.7%
1株当たり当期利益	△11.50円	66.46円	77.96円	—

- 新規契約件数が順調に推移したことに加え、1契約あたりの契約率と収益性の向上にむけ、お客様満足度向上のための施策などを実施。
- 製造原価の低減や物流費の安定化につながる施策などの実施を通して、コストの増加を抑制。

# 通期業績予想値と実績値の差異

(百万円)

	前回発表予想	実績値	増減額	増減率
売上収益	45,000	45,453	453	1.0%
営業利益	1,600	1,859	259	16.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	900	1,866	966	107.3%
1株当たり当期利益	32.79	66.46	—	—

- 売上収益、営業利益の実績値は概ね予想値の範囲内。
- 当社連結子会社の業績回復状況および今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性のある部分の計上により、法人所得税費用△393百万円を計上。結果、親会社の所有者に帰属する当期利益の実績値が予想値を大幅に超過。

# 四半期P/L推移

(百万円)

	2019年3月期				2020年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上収益	8,486	9,733	9,650	9,873	10,592	11,400	11,746	11,714
販売費及び一般 管理費	7,034	7,874	7,913	8,345	8,488	9,076	9,235	9,337
(%)	82.9%	80.9%	82.0%	84.5%	80.1%	79.6%	78.6%	79.7%
営業利益	153	421	312	△73	437	334	691	395
(%)	1.8%	4.3%	3.2%	-	4.1%	2.9%	5.9%	3.4%
税引前利益	142	373	217	△305	329	250	654	238
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△73	235	△339	△135	154	271	380	1,059

# 連結貸借対照表サマリー

(百万円)

	2019年3月期		2020年3月期		
		構成比(%)		構成比(%)	前年比(%)
流動資産	12,487	39.2	18,097	42.6	144.9
非流動資産	19,360	60.8	24,357	57.4	125.8
資産	31,848	100.0	42,454	100.0	133.3
流動負債	13,137	41.2	18,891	44.5	143.8
非流動負債	16,801	52.8	16,871	39.7	100.4
資本	1,909	6.0	6,691	15.8	350.4
有利子負債	23,428	73.6	26,230	61.8	112.0
流動比率	95.1%	—	95.8%	—	—
親会社所有者帰属持分比率	5.9%	—	15.7%	—	—

※有利子負債の中に割賦未払金を含む。

# 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

(百万円)

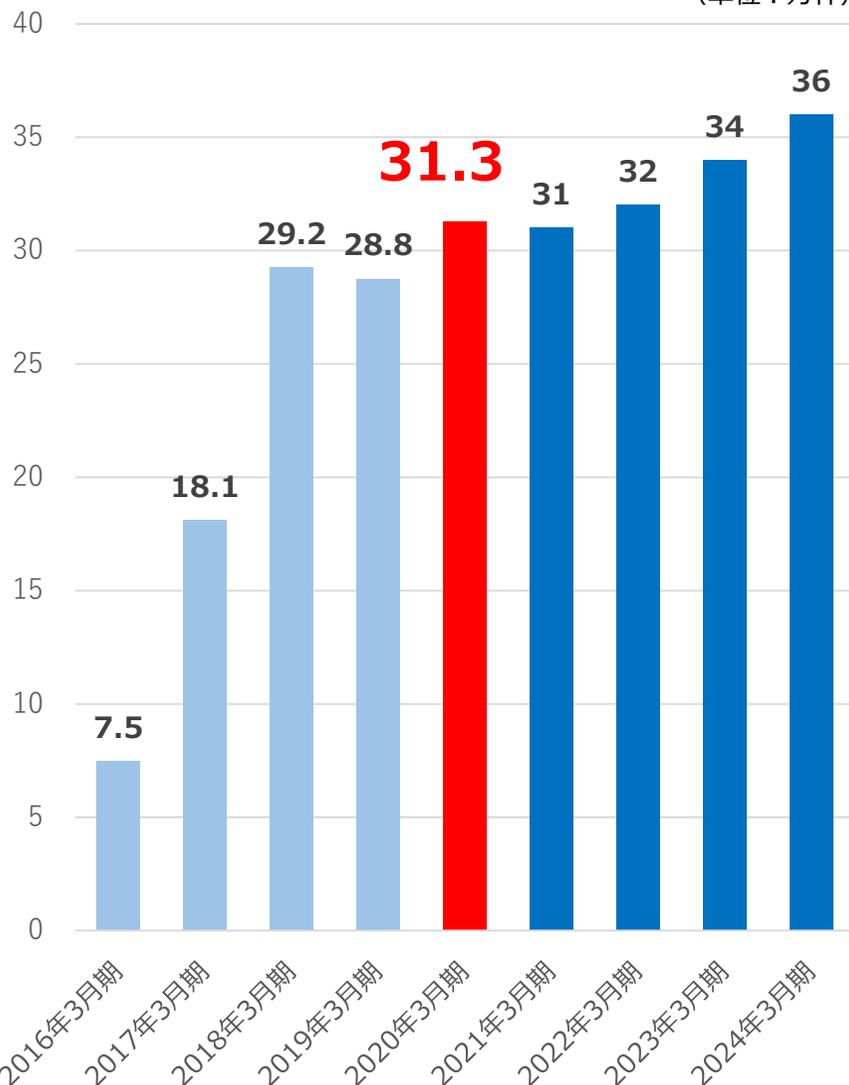
	2019年3月期	2020年3月期	主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	4,781	6,659	税引前当期利益 1,472百万円 減価償却費及び償却費 6,148百万円 契約コストの増減 △1,429百万円 営業債権及びその他の債権の増減 △935百万円 営業債務及びその他の債務の増減 2,653百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,195	△1,334	有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出 △1,259百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,907	△1,831	短期有利子負債の収支 2,000百万円 長期有利子負債の収入 4,800百万円 長期有利子負債の支出 △8,695百万円
現金及び現金同等物の 当期末残高	6,734	10,238	

# 契約件数の推移

※下記グラフの2021年3月期以降の数値は2019年5月発表の中期経営計画の数値。

## 【新規契約件数】

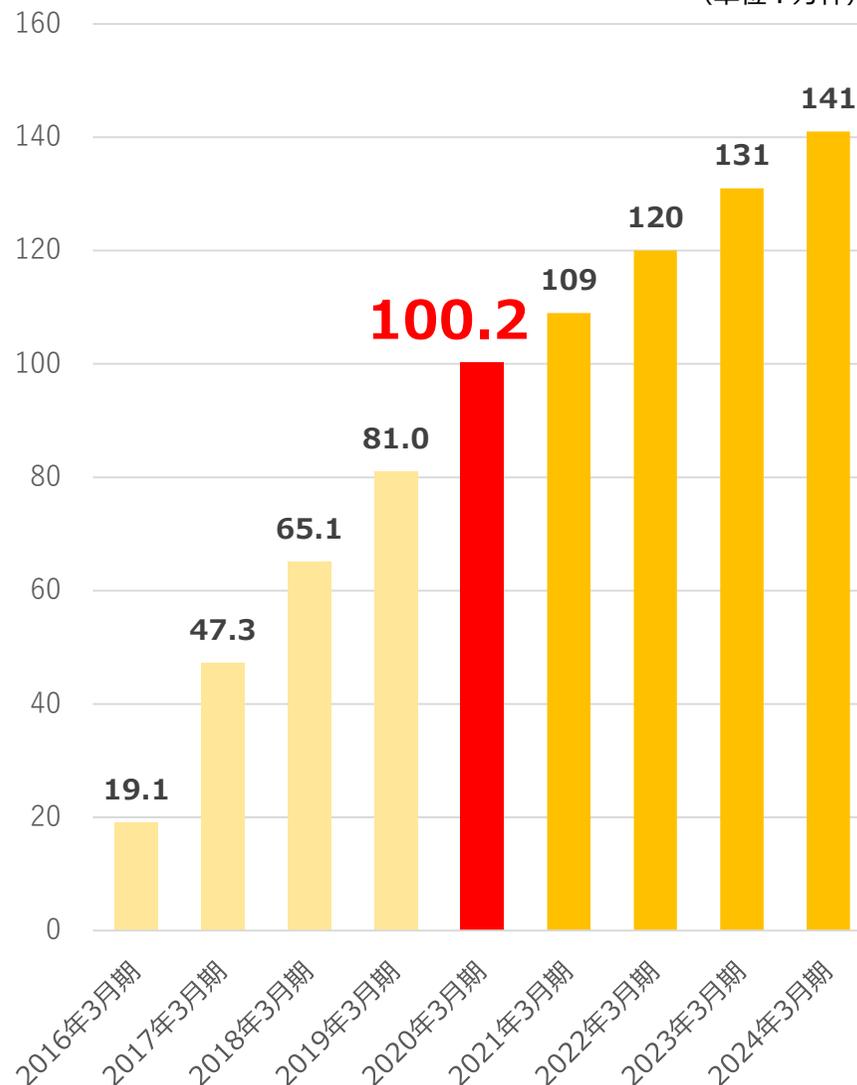
(単位：万件)



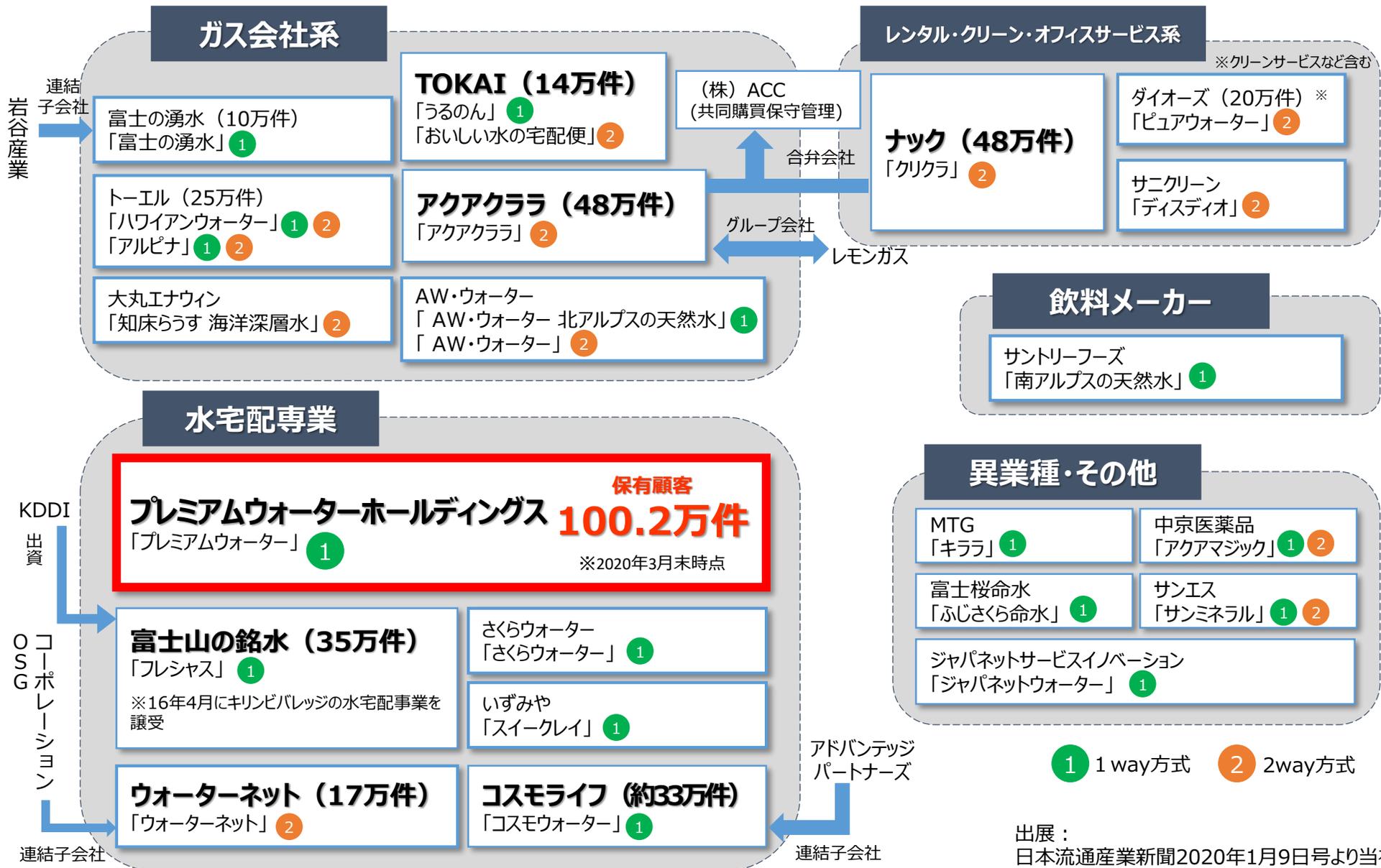
\* 2016年3月期はウォーターダイレクトの概算値。  
\* 2020年3月期の新規契約件数はOEMを除いた数値。

## 【保有契約件数】

(単位：万件)

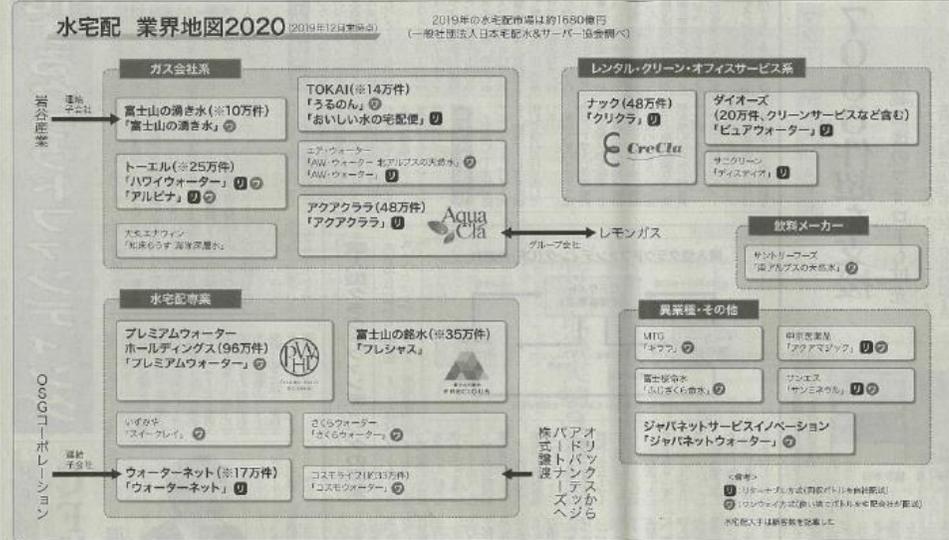


\* 2016年3月期の件数はウォーターダイレクトの有報記載の数値。



# 宅配水市場は1600億円超、PW一強に

## 水宅配業界地図 2020



19年の水宅配市場は約1600億円を記録し、PWが市場をリードしている。PWは、2019年の水宅配市場を約1600億円と推定し、そのうちPWが約700億円を占めていると発表している。PWは、2019年の水宅配市場を約1600億円と推定し、そのうちPWが約700億円を占めていると発表している。PWは、2019年の水宅配市場を約1600億円と推定し、そのうちPWが約700億円を占めていると発表している。

### 新規参入や業務提携が進む

水宅配業界は、新規参入や業務提携が進んでいる。PWは、2019年の水宅配市場を約1600億円と推定し、そのうちPWが約700億円を占めていると発表している。PWは、2019年の水宅配市場を約1600億円と推定し、そのうちPWが約700億円を占めていると発表している。PWは、2019年の水宅配市場を約1600億円と推定し、そのうちPWが約700億円を占めていると発表している。

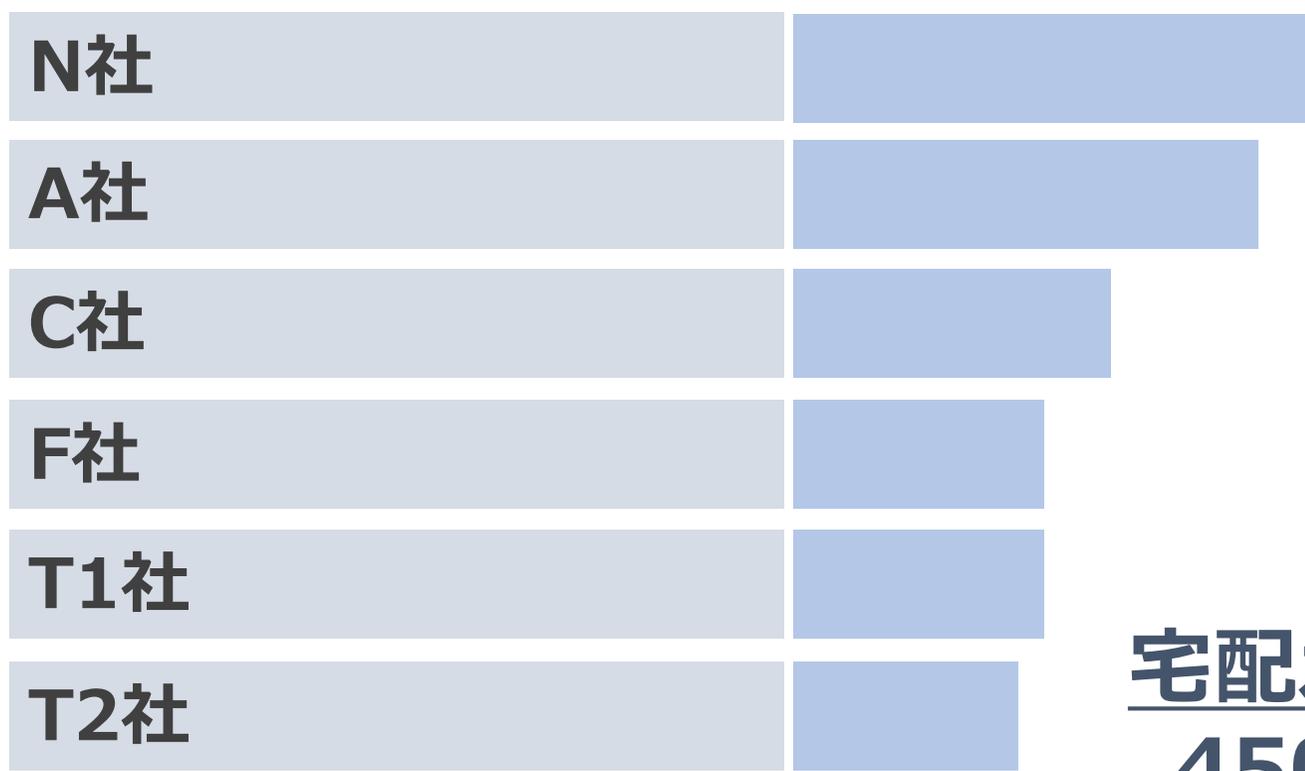
### 各社が物流費抑制に奔走

水宅配業界は、物流費抑制に奔走している。PWは、2019年の水宅配市場を約1600億円と推定し、そのうちPWが約700億円を占めていると発表している。PWは、2019年の水宅配市場を約1600億円と推定し、そのうちPWが約700億円を占めていると発表している。PWは、2019年の水宅配市場を約1600億円と推定し、そのうちPWが約700億円を占めていると発表している。

水宅配業界は、物流費抑制に奔走している。PWは、2019年の水宅配市場を約1600億円と推定し、そのうちPWが約700億円を占めていると発表している。PWは、2019年の水宅配市場を約1600億円と推定し、そのうちPWが約700億円を占めていると発表している。PWは、2019年の水宅配市場を約1600億円と推定し、そのうちPWが約700億円を占めていると発表している。

# 2019年度 宅配水業界シェア 1位

 PREMIUM WATER HOLDINGS	<b>1,002,466件</b> 
--	---



**宅配水事業の売上**  
**450億円を突破**

## 売上高450億円をミネラルウォーター市場で考えた場合

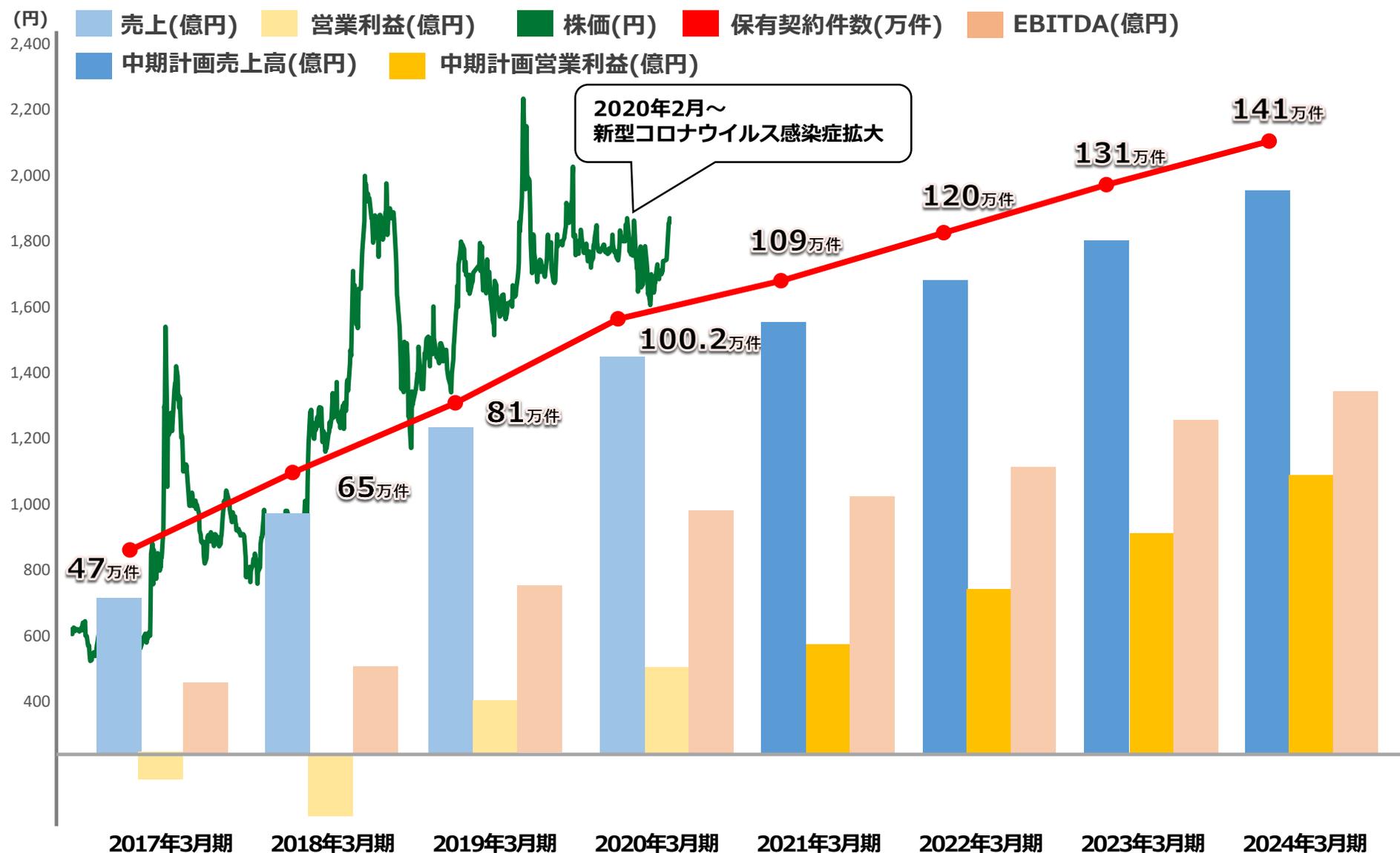
NO	社名	売上	シェア
1位	A社	1,225億円	41.5%
2位	B社	500億円	16.9%

**第3位 プレミアムウォーターHD 454億円**

3位	C社	328億円	11.1%
4位	D社	281億円	9.5%
5位	E社	105億円	3.5%

※2019年版ミネラルウォーター市場の現状と将来展望度時点(矢野経済研究所推計)

# 経営目標数値と株価の関連



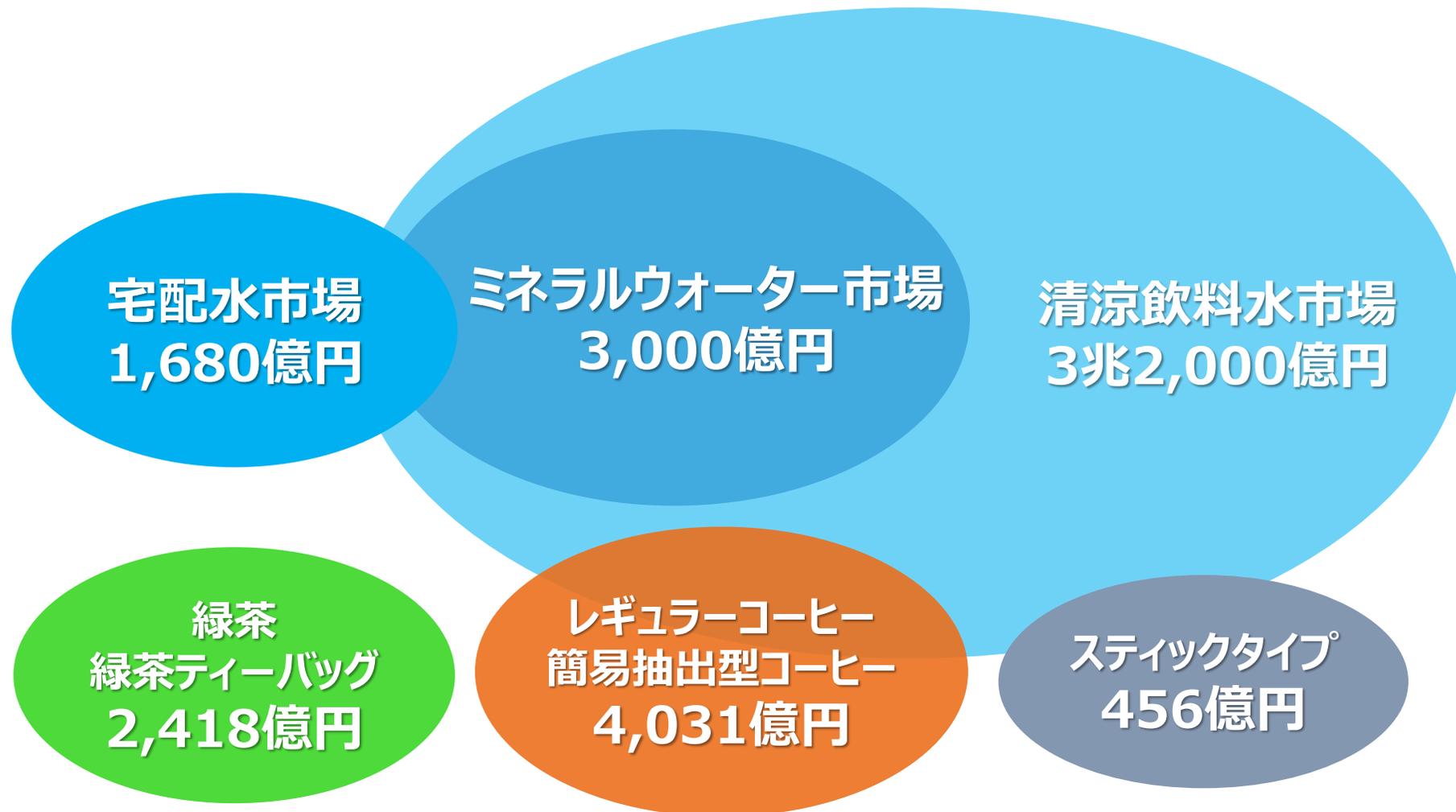
# 市場動向



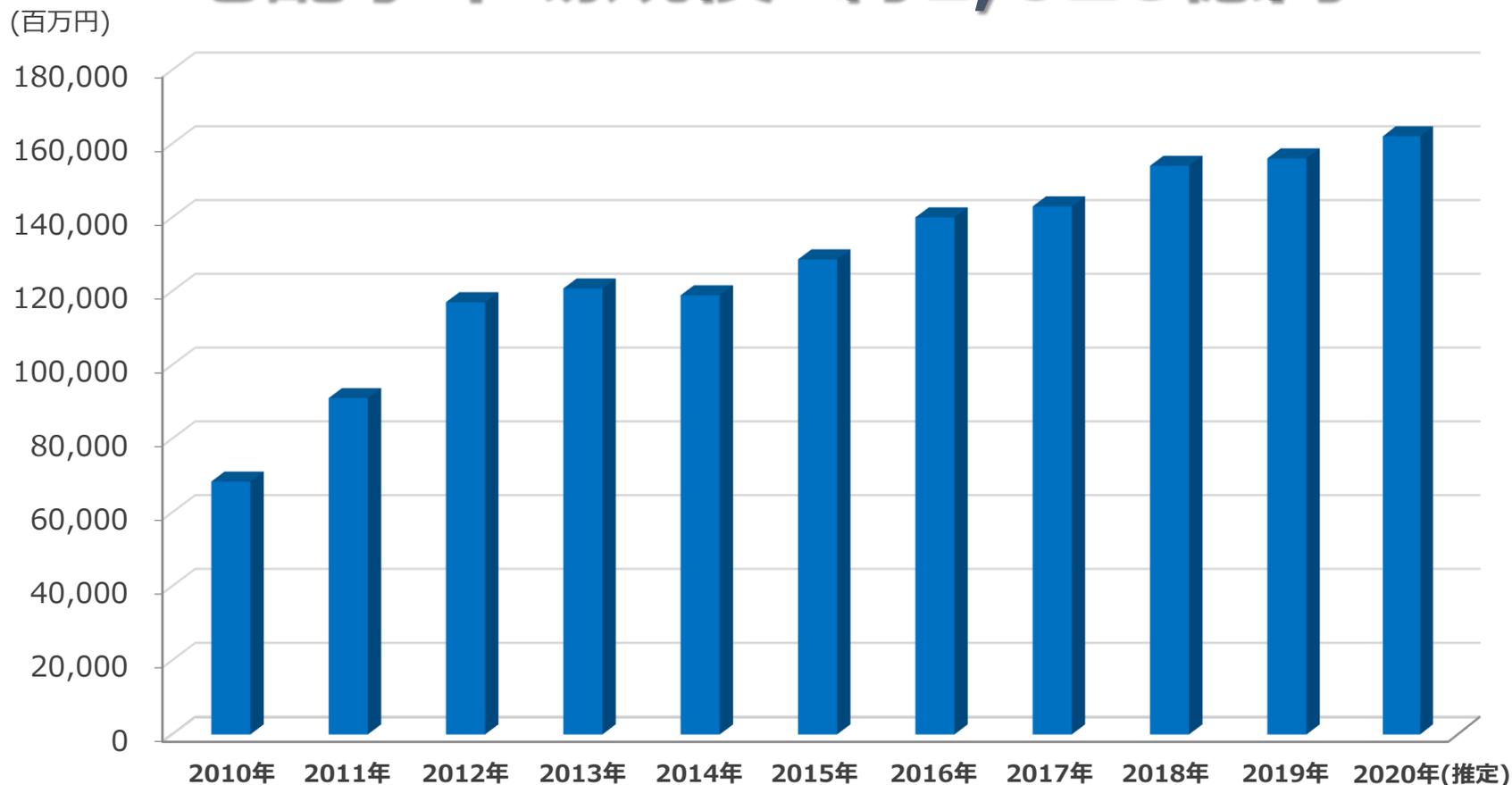


世界で水道水が飲める国は約 2 %  
その中で『日本の天然水』の価値は更に高まっている

# 展開可能な潜在的市場 4兆円規模



## 宅配水市場規模 約1,620億円

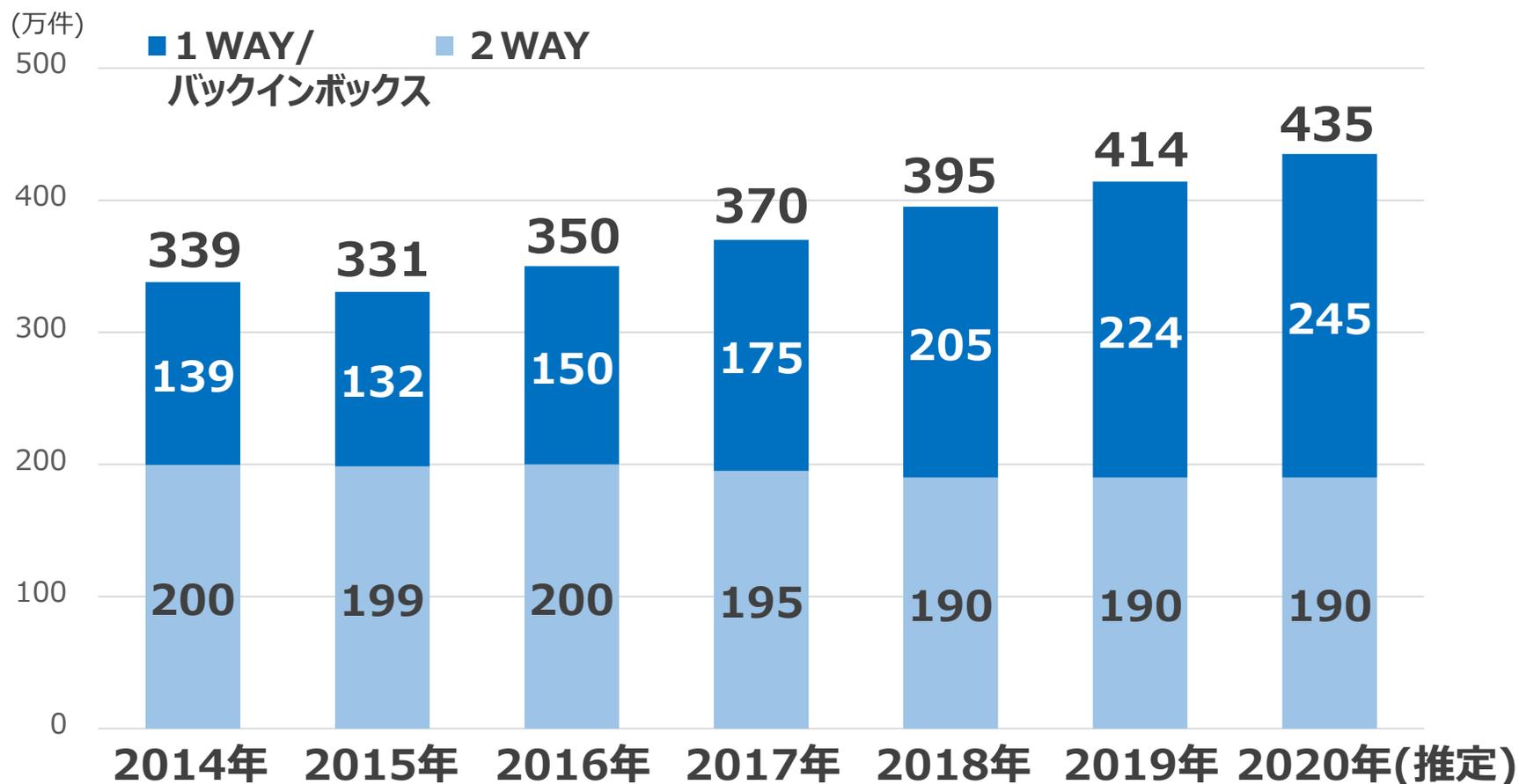


普及率未だ7%程度※

宅配水市場はまだまだ伸びる余地がある

※日本宅配水&サーバー協会(JDSA調べ)

## 宅配水市場顧客数 約435万ユーザー 1WAYは顧客数が年々増加



※日本宅配水&サーバー協会(JDSA調べ)

# 当社の優位性と今後の展望



# 圧倒的顧客獲得力

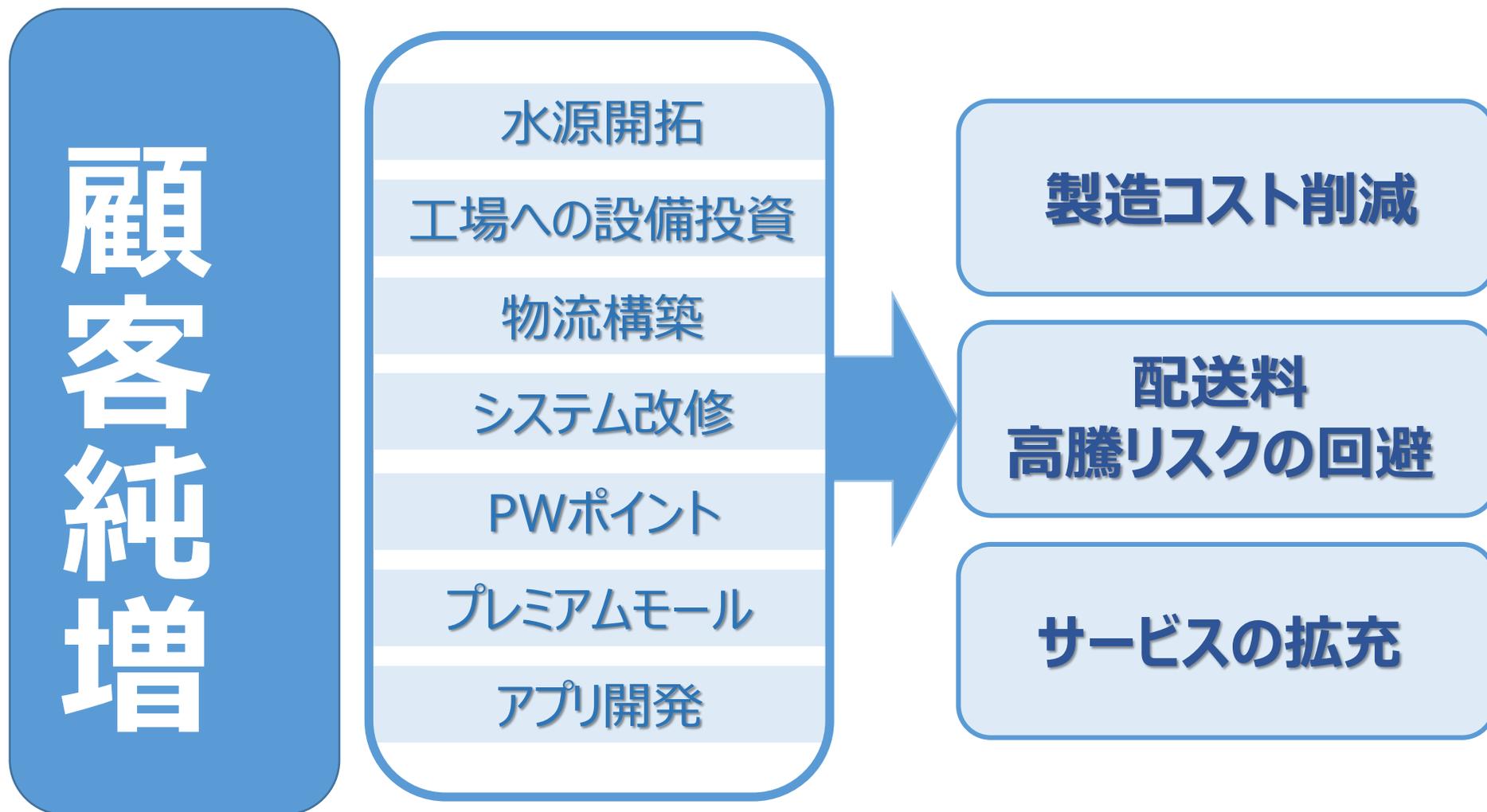


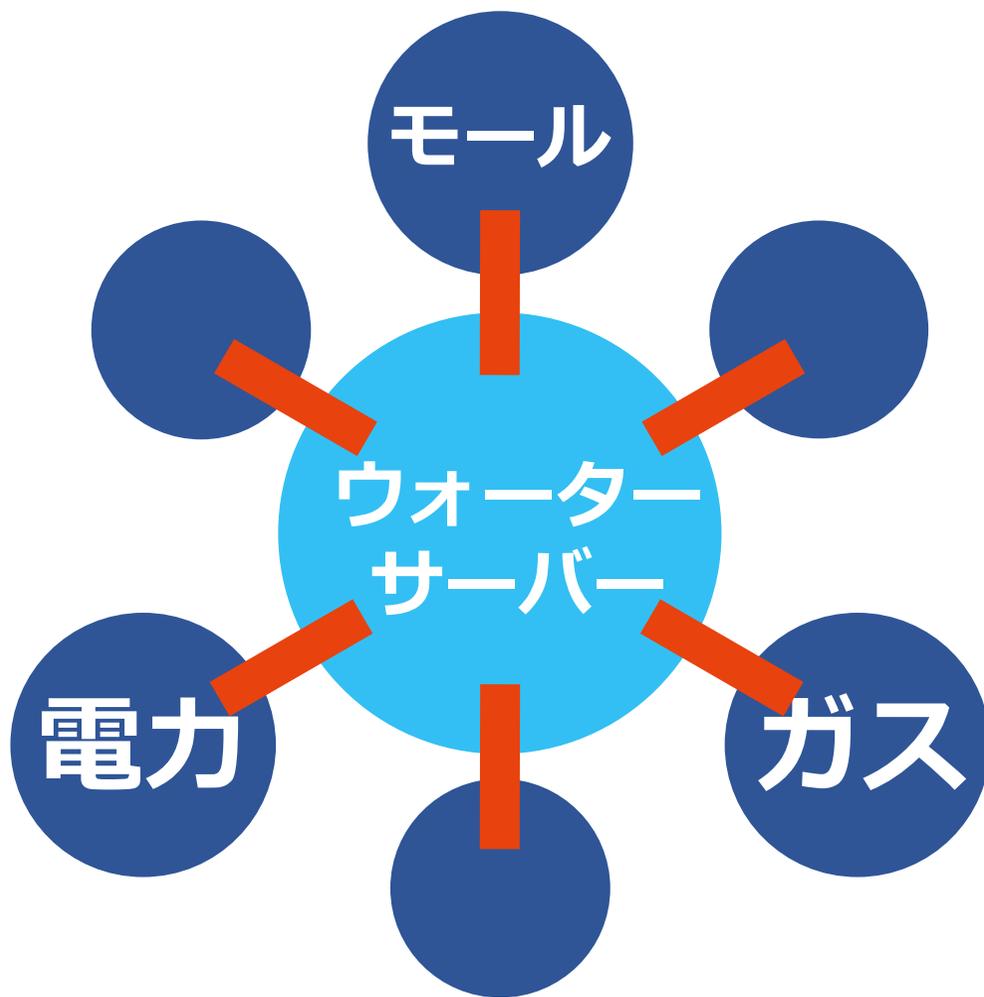
# 保有顧客数の純増



- ① 水源の開拓 … 全国5か所の水源
- ② 物流網の構築 … 効率の良い物流体制
- ③ 無駄のない設備投資 … 生産コストの低減

# 市場での圧倒的優位性を確立





顧客と水以外の繋がりも持ち

顧客満足度を向上させ

売上増・利益増・解約抑止

# 業績予想①

(百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	増減額	増減率
売上収益	45,453	53,000	7,547	16.6%
営業利益	1,859	2,100	241	12.9%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,866	1,900	34	1.8%
1株当たり当期利益	66.46	68.92	—	—

(想定される影響)

新型コロナウイルス感染症の影響により、宅配水事業において、主要な販売手法であるセールスプロモーション（催事会場における営業活動）では、催事会場の営業自粛や在宅要請に伴う来訪客の減少により、セールスプロモーションを通じた新規契約件数の伸び悩みが考えられる。

- 対面営業のブース出店を行う商業施設の休業や営業時間短縮により、対面営業による契約者獲得にマイナス影響がでると想定。一方、テレマーケティング事業部門の強化など状況にあわせた営業手法を積極的に活用・強化し、従来の対面営業と並行して、新規契約件数の獲得を図る。
- 在宅時間の長期化などでお客様のライフスタイルに変化の兆しがあることから、ウォーターサーバーが生活インフラの一部として更なる普及につながる宣伝活動や、既存顧客のサービス継続率の上昇や消費量の増加につながるキャンペーンを推進。

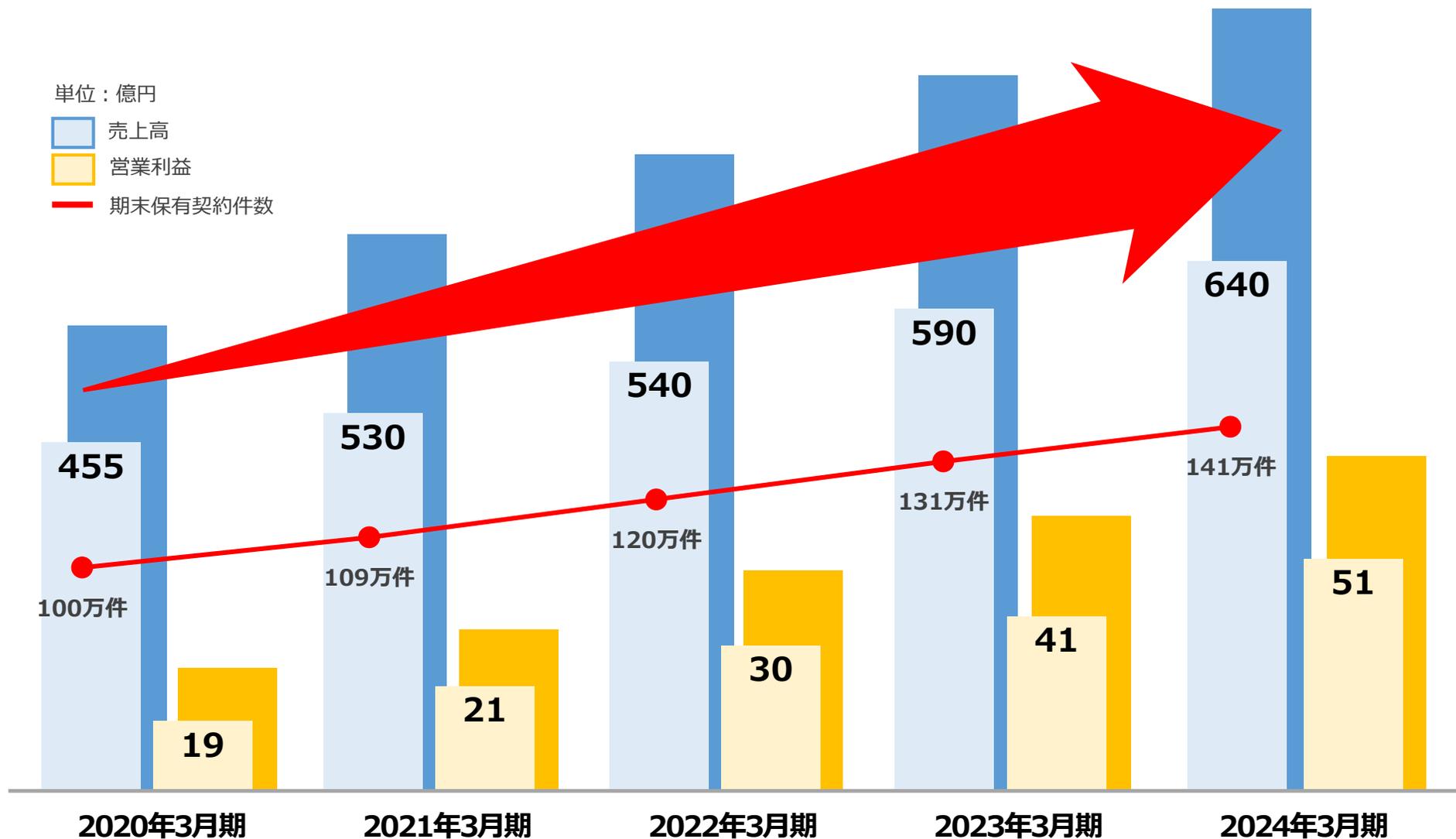
# 中期経営計画

(百万円、万件)

	実績		2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
	2019年 3月期	2020年 3月期				
売上収益	37,744	45,453	53,000	54,000	59,000	64,000
営業利益	814	1,859	2,100	3,000	4,100	5,100
EBITDA	5,988	8,008	8,300	9,600	11,000	12,300
新規契約件数	28.8	31.3	31	32	34	36
期末保有契約件数	81.0	100.2	109	120	131	141

※上記数値は、中期経営計画は2019年5月発表のもの。  
なお、2021年3月期の売上収益および営業利益は5月14日発表の業績予想値を反映。

## プレミアム経済圏による更なる収益機会の創出



※上記数値は中期経営計画は2019年5月発表のもの。なお、2021年3月期の売上収益および営業利益は5月14日発表の業績予想値を反映。

# 本資料のお取り扱い上のご注意

## 1.掲載された情報についてご注意いただきたい点

当資料を通じ、財務情報、経営指標等の情報の開示を行います。当社は、当資料を通じて情報開示を行うにあたり細心の注意を払っておりますが、当資料に掲載した情報について内容の正確性等を保証いたしません。当資料による情報開示は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断でお願い致します。当社は、当資料に掲載された情報を利用したことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

## 2.将来の見通しに関する事項について

当資料に掲載されている情報には、業績予測等の将来の見通しに関する記述が含まれていますが、これらはリスクや不確実性を内包するものです。業績予測等の将来の見通しに関する記述は、その実現性を保証するものではなく、当社を取り巻く経営環境や市場動向の変化等により、実現しない可能性があることにご注意ください。

## 3.当資料の運用について

当資料は予告なく配布の中止や内容の変更を行うことがあります。当社は、当資料を利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

<お問い合わせ先>

株式会社プレミアムウォーターホールディングス IR担当

メールアドレス：ir@premiumwater-hd.co.jp



PREMIUM WATER  
HOLDINGS

決算説明会の動画は下記URLよりご覧ください。

<https://youtu.be/-sbnRfaCdIk>

